

ユニバーサルディレラーハンガーはトレイルなどの出先でなめたり壊れたディレラーハンガーに取って代わる製品です。このパーツによりギアレンジの一部が提供されてあなたは旅を続けられるわけですが、これは決して恒久的に通常のディレラーハンガーの代用となるものではありません。

警告：取り付けにかかる前にこの説明書を一通り読んでください。もし知識的に不安があったり、工具が足りない場合は行きつけのプロショップに持ち込んで取り付けを行ってもらってください。間違った取り付けは操舵不能や自転車への損傷、さらには搭乗者に重傷や死を引き起こす恐れがあります。

必要工具：

3 & 5mmアーレンキー

取り付け説明：

ディレラーの取り外し

5mmのアーレンキーを使ってディレラーを取り外し、可能であればダメージを受けたディレラーハンガーも取り外す

セットスクリューの位置決め

お使いのフレームが水平ドロップアウトの場合、3mmのアーレンキーを使ってセットスクリューを後方の穴に（図1）、ストレートドロップアウトエンドの場合は前方の穴にねじ込んでください（図2）。

ユニバーサルハンガーの取り付け

ドライブサイドのクイックリリーススキャワナットを取り外し、ユニバーサルハンガーをねじ込みます。作業自体はユニバーサルハンガー自体を押さえて反対側のレバーを回して行くと楽に行えます。その後通常のスキャワナットと同じ要領でクイックリリースを締め込みます（図3 & 4）。

ディレラーの取り付け

これでディレラーを再度ユニバーサルハンガーに取り付けることが出来ます（図5）。ユニバーサルハンガーは元の位置よりもディレラーを6mmほど外側に押しやることを心に止めておいてください。必要に応じてディレラーのアジャストボルトを調整してください。場合によってはリアの大きなコグが制限されるなど使えるギアの範囲が制限されるかもしれません。



図1 - 水平ドロップアウトでのセットスクリュー取り付け位置



図2 - ストレートドロップアウトエンドでのセットスクリュー取り付け位置



図3 - 水平ドロップアウトエンドへの取り付け



図4 - ストレートドロップアウトエンドでのセットスクリュー取り付け位置



図5 - ユニバーサルハンガーにディレラーを取り付けた状態